

相談・地域連携担当から

教育相談



今年度も校内や地域の方から様々な御相談があり、時には関係機関と連携をしながら教育相談や学校相談、研修会を実施しました。学校相談では、地域の小学校・中学校・高等学校からの依頼により教育相談コーディネーターが電話で相談を受けたり、自立活動教諭（作業療法士、理学療法士）と共に学校を訪問したりして、授業作りや支援方法について一緒に考えました。

公開講座・学習会

今年度実施した公開講座や学習会について御紹介します。今年度も感染症対策を行いながら集合開催やリモート配信を実施し、参加者の皆様と共に学ぶ機会をもつことができました。

夏の学習会

『応用行動分析による「気になる行動」の理解と支援』

講師：横浜国立大学大学院 教育学研究科 教授 渡部 匡隆 氏

サタデーセミナー

『親なきあと～「親あるあいだ」の準備～』

講師：「親なきあと」相談室 主宰 行政書士 渡部 伸 氏

秋の公開講座

『障害のある方の性と支援～対人関係を豊かに～』

講師：東京都心身障害者福祉センター 山本 良典 氏

《公開講座の報告》

ここでは、秋の公開講座『障害のある方の性と支援』について御報告します。

講師の山本良典氏は、東京都心身障害者センター地域支援課にて、市区町村等からの専門的な相談の対応や、障害者支援のノウハウ提供等のお仕事をされています。

本講座では、【障害のある方の性や思春期をどう捉えるか、どのように支援をするか】というテーマで御講演をいただきました。

当日は校内・校外あわせて37名の方が参加し、実施後のアンケートでは「自分の子に置き換えて理解しやすかった」「とてもためになった」「日常生活の自立が性の問題の根底にあるところに気付いた」等の御感想をいただきました。

移行支援(進路)担当から

移行支援係は実習や見学の打ち合わせで、多くの進路先の方とお話する機会があります。そのお話の中で多くの方からアドバイスされる「学生のころからやってほしいこと」をお伝えします。

家庭でできる支援

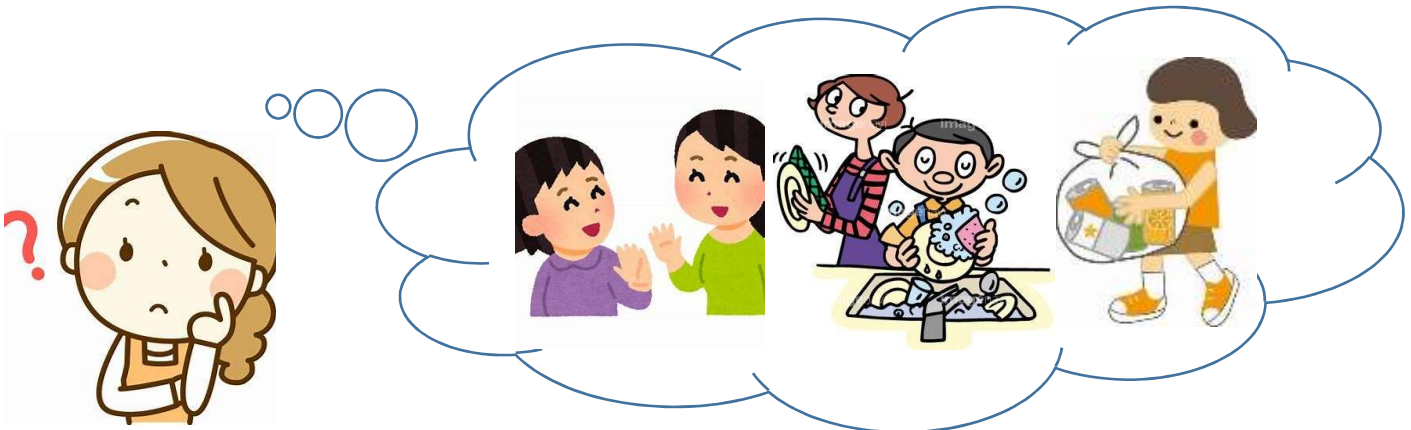
進路先の方から頂いた多くのアドバイスの中から、今回はコミュニケーションと、作業態度に関してのお話をします。

コミュニケーションで特に大切なことは「あいさつ」です。特に、自分から進んでするあいさつは大切です。「朝の気持ちの良いあいさつひとつで職場の雰囲気良くなる」と多くの企業の方から言われます。「大きな声で」「自分から進んで」などのあいさつを学校にいる間に身に付け、卒業後も継続してできるようにしていきましょう。

作業態度に関しては、①言われたことを理解しようとしているか②ありがとうと言えるか③物を丁寧に扱おうとしているか、などを見られます。作業面に関しては、得意不得意があると思いますが、作業ができるできないではなく、その作業を「やりたい」「頑張ってみようとする」ということの方が重要視されるということです。

このような力をつけるためには、日頃からの積み重ねが大切です。学校ではもちろんのこと、御家庭の中でもこの経験を積み重ねることができます。それは日頃から行っている「家族との会話」と「お手伝い」です。この二つに関しては「普段からやって欲しいこと」と多くの進路先の方から言われます。特に「お手伝い」は仕事に繋がる部分が多くあります。食器洗い、ゴミ捨て、衣服を畳むなど、探すいろいろあります。あいさつも含め、どちらも日常的に行うことで、本人にとっての「当たり前」になることが大切です。実際に家のお手伝いから「食」に興味を持ち、飲食関係の企業実習を通して進路先で力を発揮し、採用に繋がったケースもあることから、御家庭での取り組みの積み重ねが大切だと感じています。

御家庭ではすでにいろいろチャレンジされているのではないかとおもわれますが、可能な範囲でかまいませんので、家事の一部を本人の「お手伝い」として取り組ませてみてください。もし、「どんなことを任せればよいのだろう？」と悩まれた場合は、クラスの担任や移行支援担当へお気軽に御相談いただければと思います。



地域交流

お祭り・イベント



今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防をしようえで、規模を一部縮小しながらも地域のお祭りやイベントが3年ぶりに開催されたものも多く、麻生養護学校では以下のお祭りやイベントに参加しました。多くの卒業生や地域の方々が御来場されるなか、高等部のワークアート製品を販売したり、本校の教育活動をお伝えしたりすることができました。



○第 33 回あさお福祉まつり
令和4年 11 月 13 日(日)
(麻生区役所)
高等部のワークアートの製品
や校内実習の製品を販売したり、
本校の紹介をしたりしました。



○第 151 回あさお芸術のまち
ユニヴァーサルあさお
パラアート展
令和 4 年 11 月 20 日(日)
(新百合 21 ホール)
アートグループの美術作品と音
楽グループ「アンサンブルあさ
お」の活動を動画で紹介しまし
た。

○令和 4 年度
かわさきふれあい作品展
令和5年2月1日(水)
～3月23日(木)
(川崎市特別支援教育研究会)
ホームページ上で写真展示をして
います。



○カフェグランデあさお 2022 令和5年2月19日(日)(新百合 21 ホール)
麻生区の芸術・文化に関わる団体として、高等部のアートコースの活動を広く発信しました。

余暇支援のイベント

今年度は5つのイベントを開催致しました。

ペアダンスチャレンジ 令和4年6月11日(土)

ピッカ主催のイベントで、プロのダンサーと一緒にダンスを楽しみました。軽快な音楽に合わせて思い思いにステップをふんだり、手拍子をしたりと、みんなとても楽しそうでした。当日は15名の参加で体育館の中は笑顔であふれていました。

ドラムサークルチャレンジ 令和4年7月2日(土)

またまたピッカがたくさん楽器を持って、麻生にやって来てくれました。色々な国の珍しい楽器に子どもたちは興味津々でした。最後に、参加した12名全員で、アルミタッパーを使っての演奏を楽しみました。

ダンスって楽しいポップホップチャレンジ令和4年10月22日(土)

ピッカ主催。ダンサーさんとポップな曲に合わせてダンスを楽しみました。参加者は10名と少なかったのですが、一人ひとりのパワフルなダンスで会場はものすごい熱気でした。即興での発表では、緊張しながらも息がぴったりとあったダンスを披露！みんな大喜びでした。

川崎フロンターレサッカー教室 令和4年12月14日(水)

世界中がサッカー・ワールドカップで盛り上がりつつある中、麻生の体育館もサッカーで盛り上がりました。今回はB高等部3年生を対象に行いました。ゴールを決めた時の喜び方はワールドカップさながら！卒業を前に楽しい思い出となりました。

ポッチャ教室 令和5年1月19日(木)

横浜ポッチャ協会の方々を講師に招いて、A高等部・中学部を対象にポッチャ教室を行いました。体育の授業でも行っているポッチャということで、みんな自信をもった投球を見せてくれました。真冬の開催でしたが、熱いゲームを展開していました。



金程小学校との交流

麻生区社会福祉協議会が主催する福祉教育の一環として、今年度は麻生区の金程小学校4年生のみなさんとB小学部4年生がつながりました。まず、12月に本校教員が金程小学校へ出向いて事前授業を行った後、Zoomを使って2回の交流授業を行いました。

2月13日は1回目の交流でした。金程小学校4年生のみなさんの元気で明るい司会進行の下、それぞれが順番に自己紹介をしました。一人自己紹介するごとに、歓声や「よろしくね」等の言葉でのレスポンスや手を振る等のやり取りがたくさん見られました。その後、金程小学校4年生のみなさんの「アンパンマンマーチ」と「きらきら星」の演奏を行い、B小学部4年生は鬼の衣装に身を包んで「赤鬼と青鬼のタンゴ」の曲に合わせたダンスを披露しました。お互い画面を食い入るように見つめたり、曲に合わせて手拍子をしたり、感想を伝えたり等、たくさんのやり取りをしながら楽しむことができました。2回目は3月1日に行いました。さらにお互いを知り合い、楽しみながら交流を深めることができました。

今後も地域の学校とのつながりを大切にしながら、学習活動をしていきたいと思っています。